

令和4年度第2回地方独立行政法人機構評価委員会 議事要旨

日 時 令和4年9月6日(火) 16時00分から17時10分

場 所 加古川中央市民病院 3階 会議室

出席者 委 員 5名  
加古川市民病院機構 13名  
事務局 6名

会議次第 1. 開会  
  
2. 議題  
    (1) 令和3年度業務実績に関する小項目評価について  
    (2) その他  
  
3. 閉会

【配付資料】

資料1：令和3年度の業務実績に関する小項目評価

1. 開会	開会の宣言 ＜委員長あいさつ＞
2. 議題	<p data-bbox="472 271 1158 304"><b>（１）令和３年度業務実績に関する小項目評価について</b></p> <p data-bbox="456 315 1423 427">事前に提出いただいた各委員の評価について、評価が異なる小項目を中心に質疑及び議論を行い、委員会としての評価を決定していくことを委員長から各委員へ説明があった。</p> <p data-bbox="472 477 895 510"><b>【項目】1-1-(1) 救急医療への対応</b></p> <p data-bbox="488 562 735 595">法人自己評価：「４」</p> <p data-bbox="488 602 1358 636">委員事前評価：「４」（３人）、「５」（１人）⇒ 評価委員会評価：「４」</p> <p data-bbox="472 685 552 719">（委員）</p> <p data-bbox="456 725 1423 927">課題としてあげられている脳血管疾患については、市内に脳神経外科に強い病院があるし、外傷については、県立加古川医療センターや民間病院も対応しており、ある程度ニーズが満たされていると思う。加古川中央市民病院はコロナ対応で救急を受け入れている実情を知っているので、５の評価とした。</p> <p data-bbox="472 976 552 1010">（委員）</p> <p data-bbox="456 1016 1423 1218">数字で評価をすると、不応率の指標で目標を達していないので４の評価を付けたが、コロナ禍という状況で、コロナ患者が病院難民になるなか、市民病院はコロナ患者を受け入れておられる点はとても評価できると思う。５という積極的な評価をつけたい気持ちもあるが、来年以降の目標という意味で評価としては４でいいと思う。</p> <p data-bbox="472 1305 1023 1339"><b>【項目】1-1-(2) 災害時における機能の強化</b></p> <p data-bbox="488 1391 735 1424">法人自己評価：「４」</p> <p data-bbox="488 1431 1358 1464">委員事前評価：「４」（３人）、「５」（１人）⇒ 評価委員会評価：「４」</p> <p data-bbox="472 1514 552 1547">（委員）</p> <p data-bbox="456 1554 1423 1666">コロナ禍であっても、沖縄県の医療にも貢献している点は、様々な困難がある中でも臨機応変に対応されており評価できる。また、達成状況も全ての項目に○がついているので５と評価した。</p> <p data-bbox="472 1715 552 1749">（委員）</p> <p data-bbox="456 1756 1423 1834">どの病院もそうだが、コロナ禍で様々な実習、研修、訓練ができなかった面もある。今後の伸びしろを考えると４でもいいと思う。</p> <p data-bbox="472 1921 1190 1955"><b>【項目】1-1-(4) 地域の中核医療機関としての役割の発揮</b></p> <p data-bbox="488 2007 735 2040">法人自己評価：「４」</p> <p data-bbox="488 2047 1358 2080">委員事前評価：「４」（３人）、「５」（１人）⇒ 評価委員会評価：「４」</p>

(委員)

コロナ禍のため、どうしても紹介率が低くなってしまいう問題がある。  
一方で、医師や看護師を新型コロナのワクチン業務に派遣し貢献いただいた点を高く評価する。

(委員)

計画の達成度という観点で評価を行った。様々な状況があると思うが、達成率が未達の部分があったため、4の評価を付けた。

**【項目】1-2-(4)周産期医療の充実**

法人自己評価：「5」

委員事前評価：「4」(1人)、「5」(3人) ⇒ 評価委員会評価：「5」

(委員)

中期計画・年度計画を客観的に見た場合、総合周産期母子医療センターの整備についての達成状況が未達であったため、4の評価とした。

(委員)

慢性的な産科医不足については、どこの病院でも大きな問題であるが、そういった中でも目標指標の数値を達成している点が評価できる。

**【項目】1-2-(5)小児医療の充実**

法人自己評価：「4」

委員事前評価：「4」(1人)、「5」(3人) ⇒ 評価委員会評価：「5」

(委員)

小児科救急搬送受入件数が目標指標を大きく達成しているし、その他の活動指標についても昨年度に比べて件数が増加しており、地域の小児科センターとして大きく貢献している点を評価した。

(委員)

目標指標や活動指標の達成状況および新型コロナウイルス感染症患児の治療を行った点などを評価した。

(委員)

数値目標や年度計画をすべて達成している点を評価した。

(機構)

数年前から感染症に頼らない小児科を目指していたが、今回のコロナ禍でそれがかき消されたところもある。しかし、実際にコロナ診療に対して非常に頑張っているし、同時に通常の診療も行っているため、委員の皆様の評価を受け入れたい。

**【項目】1-2-(6)センター診療機能の更なる充実**

法人自己評価：「4」

委員事前評価：「2」（1人）、「3」（2人）、「4」（1人）

⇒ 評価委員会評価：「3」

（委員）

コロナ禍でセンターとしての役割が難しい中、ニーズに応じていただいたと思う。

（委員）

具体的な中身が見えにくい部分があり、年度評価の達成状況が不明な部分があった。

（機構）

そもそもセンターとは、領域や臓器別に内科医・外科医などが診療科の枠を超えて共同で専門的なチーム医療を実施していくことと考えており、新たなセンターを作り、高度で専門医療ができる状況をつくらないといけないと考えている。そのためには、専門性の高いドクターの確保や救急受入可否、診療機器の充実、地域での役割、将来的な見込等を勘案してセンターを作ることを考えている。

**【項目】1-2-(8)高度・専門医療を提供する人材の確保と育成**

法人自己評価：「4」

委員事前評価：「4」（3人）、「5」（1人）⇒ 評価委員会評価：「4」

（委員）

数値目標の達成率や項目ごとの達成状況から評価した。

（委員）

医師数やスタッフが増えているが、少し頭打ちになっていると思う。もう少し研修医が増えれば良いと思うが、制度上の問題もある。今後の期待を込めて4の評価とした。

（委員）

産科医など特定の科目の医師を増やすことは必要だが、どんどん医師数を増やしていくべきというものでもない。今後は看護師のラダー取得者数を増やすなど、人材育成の方面に重きを置いていくべきだと思う。

**【項目】1-3-(2)患者とともに進める医療の推進とサービスの充実**

法人自己評価：「4」

委員事前評価：「3」（1人）、「4」（3人）⇒ 評価委員会評価：「4」

(委員)

数値目標はほぼ達成できている。細かい部分になるが、セカンドオピニオンへの取組や患者相談窓口拡充について具体的な取組が見えない部分がある。

(委員)

入院・外来ともに入院満足度が高く、今後も継続していただきたい。

(委員)

意見回収に占める感謝の割合が他の医療機関と比べても高いと感じる。回収件数自体も多く、それだけ患者と共に病院運営をされているという印象を受ける。

**【項目】2-1-(2)コンプライアンスの徹底**

法人自己評価：「3」

委員事前評価：「2」(1人)、「3」(2人)、「4」(1人)

⇒ 評価委員会評価：「3」

(委員)

様々な取組を行っており、達成状況も全て○である。取組の種類のを評価し、法人評価よりも良い評価とした。

(委員)

実績評価の文面だけではハラスメント通報窓口・相談窓口の周知や早期に介入できる体制について具体的な取組が見えなかった。また、公益通報制度の整備や運用状況についての中身が見えなかった。アンケート調査実施後のフィードバックが重要だと思うが、一方で踏み込んだところまで対応いただくと、より良くなると思う。

これまでの経験からすると、経営状況等が良いときはコンプライアンスの問題が見えにくい部分があるが、少し時間の余裕ができたり会社の売上げが落ちてきたりすると、コンプライアンスの問題が顕在化することがある。今は病院の本業として素晴らしい結果を残しているため、ハラスメントについては最近法律の改正が進んでいるところで、各企業でも力をいれている部分であるので、そういったところも充実させてほしい。

(委員)

コンプライアンスの体制について、好事例や最低限実施すべき内容について何か考えはあるのか。

(委員)

個人間のやりとりについて組織が関与するべきところではないが、使用者責任や安全配慮義務違反については法人が責任を負わねばならない場面がある。

	<p>(機構) 組織として徹底するため、対策委員会とコンプライアンス推進委員会を設けて力を入れている。公益通報制度については、5年程前に見直しを行い、弁護士に入ってもらい、相談窓口の運用を行っている。ハラスメントについては、防止・対応が求められるため、これについても窓口を設けている。弁護士による外部相談窓口や、内部で2名のスタッフを充て、内部相談を実施している。ただし、アンケートをとるとそうした制度が職員に十分に周知できていない状況であるので、職員に周知する取組を継続的に行っていきたい。</p> <p><b>【項目】4-1-(1)地域社会との協働の推進</b></p> <p>法人自己評価：「3」 委員事前評価：「2」（1人）、「3」（2人）、「4」（1人） ⇒ 評価委員会評価：「3」</p> <p>(委員) コロナの予防接種への協力を地域に対する貢献として含め評価した。</p> <p>(委員) 年度計画の達成状況が△の部分があったことを考慮して判断した。</p> <p>(委員) コロナ禍であったため、計画どおり実施しにくい部分があったと思うが、地域社会とのコミュニケーション方法について、例えば動画配信を用いた情報伝達など今後の課題として感じた。</p> <p>(委員) 地域社会から感謝される存在であると思う。コロナ禍で協働は難しい状況であり、今の段階では3の評価が適当ではないかと思う。</p> <p>(委員) きらり川柳など、新しいアイデアを発揮しながら地域社会との協働に取り組んでいることが評価できる。</p> <p>(2) その他 特になし。</p>
3. 閉会	<副委員長あいさつ>